

■ ジャポニスム学会 [関西例会] 琳派400年記念 ジャポニスムと琳派

日 時：2015年7月25日（土）第1部 11時～13時／第2部 14時30分～17時

場 所：第1部 細見美術館／第2部 京都国立近代美術館

第1部の作品鑑賞会および懇親会は事前申込みが必要です。ご希望の方は、下記の学会連絡先までお申し込みください。申込み締切りは7月15日ですが、定員になり次第、締め切らせていただきますので、ご諒承ください。なお第2部の研究会は事前申込み不要で、一般の方の参加も可能です。琳派400年を記念したタイムリーな企画ですので、ふるってご参加ください。

◆ 第1部：細見美術館所蔵「琳派」作品鑑賞会

[概要] 細見美術館は琳派、なかでも他に先駆けて江戸琳派と神坂雪佳の優品を数多く収蔵した美術館として知られています。第1部では、細見美術館のお茶室「古香庵」にて、細見良行館長お勧めの琳派作品を、細見館長の解説とともに鑑賞します。その後、場所を館内の「カフェ・キューブ」に移し、昼食ないしお茶を頂きながら、コレクターの視点からみた「琳派」やその今日的影響などについて、細見館長と歓談します。

[プログラム]

10:45 受付

11:00～12:00 細見美術館所蔵琳派作品鑑賞会（3F 古香庵）

12:00～13:00 細見良行館長と歓談（B1F カフェ・キューブ）

最大参加人数：20名（要事前申込み：学会員限定：7月15日〆切）

参加費：無料、但し「カフェ・キューブ」での飲食費は自己負担。

◆ 第2部：「ジャポニスムと琳派」研究会

[概要] 19世紀半ばから欧米の造形芸術に大きな影響を与えた日本美術には、浮世絵と並び「琳派」の作品群があります。本研究会では、当時と現在、さらには日本国内と欧米とにおいて、「琳派」の定義づけや意味に関し、どのような相違もしくは変化があったのかを検証し、「ジャポニスムと琳派」の今日的問題を議論します。

[プログラム]

14:00 受付（京都国立近代美術館1F講演室）

- 14:30～15:15 発表1「琳派のゆらぎー「継承と変奏」の諸相」
福士雄也（京都国立博物館研究員）
- 15:15～16:00 発表2「ジャポニスムと琳派：装飾再考？」
ールイ・ゴンス、ロジェ・マルクス、エミール・ガレ、クロード・モネ」
稲賀繁美（国際日本文化センター教授）
- 16:00～16:15 休 憩
- 16:15～17:00 ディスカッション[ディスカッサント：隠岐由紀子（美術史家）]

◆ 懇親会

第1部・第2部終了後、懇親会を開催します（要事前申込み：7月15日〆切）。

場 所：京料理 かじ（<http://www.kyoto-kaji.jp/index.html>）

京都市中京区丸太町通小川東入南側 TEL 075-231-3801

地下鉄烏丸線「丸太町」駅4番出口から徒歩7分：市バス202号系統「府
庁前」下車すぐ

京近美からタクシーで約10分（約1200円）

時 間：18時～20時半頃

参加人数：最大20名（ただし発表者を除く）

参加費用：約6000円

※ 京都駅へのアクセス：会場から地下鉄丸太町駅までは徒歩約7分、丸太町駅から京都駅
までは約10分です（乗り継ぎには先頭車両が便利です）。

タクシー利用の場合は、会場から京都駅まで約15分です。